

## 他にはない独特なフィーリング 走り出せばすぐに慣れてしまう

〈まずは装着時のルックスを見る〉

パツと見て感じたのは、ヨーロッパ系のタイヤっぽさです。サイドとインサイドでパターンが違っているところはスポーティですし、その違いによって直進性とコーナリング時のしっかきさを実現しているんだらうな、と想像しました。タテ溝もしっかりしているので排水性もよさそうです。

〈街中を走ってみての印象〉

交差点などでステアリングを切り込んでいくとき、ごく初期からしっかりと路面をつかんでいる感じがあって、

予想よりも曲がらないとか予想よりも曲がりすぎるといふことはなく、自然なフィーリングで知ることができました。路面の状態、たとえばざらざらしているとかフラットだとかというのもフィードバックがしっかりしていてわかりやすかったです。それよりも驚いたのは、タイヤ自体にしっかき感があるのに駐車場に入るときなどの段差の乗り越えが柔らかかったことです。低速での衝撃の吸収と収まりがよくなっています。じつは以前、前モデルであるプロクセス・スポーツを試したことがあ

るので、それと比べるとしっかき感が大きくレベルアップしているから乗り味は高級感が増しています。ケース剛性とコンパウンドのバランスがよ

くなっているんだらうな、と想像しました。

〈次に高速道路を走行〉

今回の試乗ではドライとセミウェットを走ることができたのですが、まずロードノイズは低めで、静かといつてもいいでしょう。レーンチェンジでの動きはリニアで収まりも良かったです。直進性も悪くないので、ロングドライブでの疲労感も少ないのではないかと思います。全体的に収まりがいい、というのが印象ですね。

〈試乗を終えて〉

このプロクセス・スポーツ2で走ってみて感じていたのは、たとえば欧州

や国内のスポーツタイヤとは感触、タイヤからのフィードバックが違う、という部分でした。走っていれば慣れてしまうものだと思うのですが、こういった短期間の試乗だとその部分の違和感が残りました。といつても、不安感があるとか怖いとかではありません。おそろくですがこれは、開発コンセプトの違いからくるものなのでしょう。いままで慣れているタイヤとは伝わりかたが違う部分を感じました。

欧州タイヤメーカーや国内タイヤメーカーにはそれぞれのタイヤの特徴があり、経験上それぞれの長所を説明できるのですが、プロクセススポーツ2はこれらのタイヤとは違う新しい乗り心地を感じました。この違いは面白い

ですね。もちろんそうだからといって、普通に街中や高速道路を走るとき、問題があるわけではなく、良いフィーリング。これまで知られていないタイヤとは違ったアプローチをしているのでは、と感じました。それも含めて総合的にいえば、アウディで普通に、街中や高速道路で走っている人にとって。十分に以上の性能を持っていると思います。

パターンをインサイドとアウトサイドでわけだけでなく、コンパウンドもそれぞれに合わせて直進性やコーナリング時のリニアさ、ウェット性能の高さを実現。



プレミアムスポーツにふさわしいハンドリング性能

# TOYO TIRES

## PROXES Sport 2

